



(*) アドミッション・ポリシー
駒澤大学の求める学生像

■駒澤大学建学の理念への理解（主体性・多様性・協働性）

- ・本学が仏教の教えと禅の精神を建学の理念とする大学であることを理解している。
- ・入学後は、建学の理念に沿い、学業を始めとした多様な活動に失敗を恐れることなく積極的にチャレンジし、粘り強く自己研鑽し続ける意欲がある。
- ・卒業後は、学部・学科で学んだ知識や技能を生かして社会に貢献する意欲がある。

■入学前に修得することが望ましい教養（知識、技能）

- ・文理を問わず高等学校で学習する教科・科目を幅広く身につけている。特に、入学を希望する学部・学科が必要となる教科・科目の知識・技能をよく身につけている。
- ・英語を中心とした外国語の4技能（聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと）について高等学校卒業程度の運用能力を有している。
- ・地域社会、国際社会及び産業界の動向への関心・問題意識を有している。

■課題解決へのアプローチ（思考力、判断力、表現力）

- ・目標達成・問題解決のため、知識・技能を活用して、情報収集や分析を行い、自ら考えることができる。
- ・分析・研究の成果をレポートやプレゼンテーション等により、分かりやすく他者に伝えることができる。

■他者と協働する力（主体性、多様性、協働性）

- ・部活動、留学、ボランティア等の活動を通じ、多様な他者と協働して行う活動において、多様な意見や異なる価値観を生かして最良の結論を見出すためチームを主導することができる。または、積極的にチームに貢献することができる。

駒澤教養パスポート

1 建学の理念科目 「仏教」の教えと「禅」の精神に基づく教育科目です。本学は、禅宗の一派である曹洞宗が設置した大学であるため、本学に入学した学生全員が学びます。仏教および禅の基本的な歴史や教義について概説するとともに、仏教が広がった地域社会の生活や文化に与えた影響などについても学びます。また、これらの視点から、人間が生きていく上で直面する様々な問題についても考えることができます。	2 複数言語教育、外国語教育 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語の6か国語を学ぶことができます。また、外国の文化を学ぶ科目や外国の文学を学ぶ科目も用意されており、世界の様々な言葉に触れて新たな魅力を発見することができます。
3 数理教育、自然科学教育、情報教育 データサイエンス・AIの基本的知識を身につけてもらうための科目だけでなく、数学関連科目も用意しています。さらに社会でのニーズが高まっている統計分析も学ぶことができます。今は「文理融合」人材が社会で求められていますので、本学では理系科目も入学後に様々な履修できるよう多数の科目を用意しています。	4 多文化理解教育 最も身近な駒澤大学の歴史に始まり、日本や世界の歴史、日本の文化や倫理観、世界の宗教や文化を学ぶことができます。ダイバーシティ（多様性）の時代だからこそ、様々な文化や考え方に触れ多文化理解を深めることができます。
5 日本語リテラシー教育 大学生として求められる文書作成能力を養うと共に、自分の考えを的確に表現する（他者に伝える）力を身につけてもらいます。自己理解・他者理解を実践し、社会生活を送る上で必要な考え方の再認識を行い、コミュニケーションスキルの向上や日本語の文章表現方法を学びます。	6 教養ゼミ 少人数クラスで議論や発表を行う科目です。コミュニケーション能力のさらなる向上や様々な考え方に触れることで、社会で役に立つ能力が身につきます。所属する学部学科のゼミとは一味違った教養教育のゼミで新たな課題発見力・問題解決力を身につけます。
プログラムの修了 必要な単位を修得し、「駒澤教養パスポート」プログラムを修了すると、修了証とオープンバッジが授与されます。	
オープンバッジとは	オープンバッジは、国際的な技術標準であるオープンバッジ規格に則った、知識・スキル・経験のデジタル証明です。ブロックチェーン技術により、オンライン上で簡単かつ瞬時に有効性を検証できるので、信頼性の高い証明となります。SNSやメールの署名、デジタル履歴書などに貼り付けて修得した能力や知識を可視化・証明することで、就職活動など対外的にアピールできるようになります。

も充実しています。世界中で生み出される膨大なビッグデータを解析し、そこに新たな社会的価値を見出し、データを活用して社会の課題解決に挑むことのできる力を養うもので、2022年度の文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」に認定されました。

「駒澤大学の教育体制の特徴は、学生が社会を照らす光となる教養と専門性を得ることに加え、信じる心と分かち合う心を育む人間教育に力を注いでいることです」（村松学長）

充実のキャリアサポートと多彩なグローバル支援

社会に貢献できる人材を送り出すことが『誰からも愛される大学』の使命であるとする駒澤大学では、キャリアサポートも充実しています。また、多彩なグローバル支援を展開しています。

キャリアセンターでは、一人ひとりの面談を重視し、原則予約不要で随時個別相談に応じています。業界

知識の豊富なスタッフが常駐しており、夏季休暇・春期休暇中も利用可能です。キャリアセンターは幅広いネットワークを誇っており、学生就職相談件数は708件、求人数1万4822件、来校して学内で説明会を開催した企業数357件（2024年度実績）となっています。

4年間を通して実施されるキャリア支援プログラムには、就職ガイダンス、就活集中セミナー、合同企業説明会、業界研究講座、就職ゼミをはじめ、地方への就職をサポートする地方就職インターン準備ガイダンス（3年生対象）、インターン就職ガイダンス（1・3年生対象）、県別インターン就職相談会（全学年対象）など多彩なラインアップを用意しています。

ダイバーシティ（多様性）の推進にも力を入れており、幅広く国際社会で活躍できる人材を育成するため多様なグローバル支援を整えています。国際センターでは、海外で学びたい学生一人ひとりの要望に合わせ、幅広く対応しており、留学フェアなど国際交流に向けたイベントも開催しています。海外留学制度も多彩で、海外の協定校で学ぶ「交換留学」、留学先を自分で選ぶ「認定校留学」、夏・春の休暇期間を利用した「短期語学セミナー」などがあります。

また、大学と社会が協働して課題を発見・共有し、新たな価値を生み出す活動を促進するため、「駒大生社会連携プロジェクト」と「駒大生

社会連携アイデアコンテスト」という2つの学内公募型制度を設けています。

仏教の精神に基づき互いに高め合おう

駒澤大学では、独自の学内奨学金をはじめ、日本学生支援機構奨学金、地方公共団体・民間団体奨学金などの学外奨学金を用意して、学生の状況やニーズに応じています。「学生相談室」では臨床心理士・公認心理師の資格をもったカウンセラーや、専任教員のアドバイザー、弁護士、法律相談員が、どんな相談にも秘密厳守で応じています。また、専門知識を持つ障がい学生支援コーディネーターを配置し、障がいのある方への支援を行っています。

キャンパスライフに目を向ければ、体育会と文化部を合わせて約60団体、任意団体を含めると150を超える部活動とサークルがあります。全国レベルの実績を上げているクラブも多く「文武両道の駒澤」として愛校心を醸成しています。

村松学長は、「仏教について学ぶことで真実を見抜く力が身に付くはず。駒澤大学の4年間で、きつと真の自分が見つかります。それが駒澤大学で学ぶ意味だと思っています。学生一人ひとりの成長が、駒澤大学の未来をつくります。互いに高め合いながら、この学び舎をより輝かしい場としていきましょう」とエールを送ってくれました。



むらまつてつみ
村松哲文学長

2003年、早稲田大学大学院文学研究科芸術学美術史専攻博士後期課程単位取得退学。2005年、駒澤大学仏教学部専任講師。2009年、同学部准教授。2015年、同学部教授（現在に至る）。2021年から2025年3月まで禅文化歴史博物館長。2021年～2022年学術研究推進部長。2025年4月より現職。

仏教の教えと禅の精神を建学の理念に掲げる駒澤大学は、1592（文禄元）年に江戸駿河台に設立された前身の「学林」から数えると430年を超える長い歴史と伝統を誇っています。現在では、7学部17学科9研究科（法科大学院含む）を擁する総合大学として発展し、緑あふれる駒沢オリンピック公園に隣接する一つのキャンパスに1万4000人余の学生が学んでいます。そして、25万人を超える卒業生が、さまざまな分野で活躍しています。

2025年度からは、釈尊の教えに基づいた智慧と慈悲に縁起を加え、この智慧・慈悲・縁起の3つを柱に「誰からも愛される大学」を目指していきます。この具現化に向け、「自分を磨き、他者とともに分かち合う心を育む人間教育」に力を注ぎ、持続可能な社会の発展に寄与する人材の育成を行っています。

駒澤大学

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1 入学センター TEL 03-3418-9048 <https://www.komazawa-u.ac.jp/>

智慧と慈悲と縁起でともに学び支え合う

駒澤大学の歴史は1592年、禅の思想を重視する曹洞宗の学舎として開設された「学林」に始まります。1882年に麻布北口ケ窪町（現在の港区六本木）に移転し、校名を曹洞宗大学林専門本校と改称。その後、1913年に現在の地に移転し、1925年に駒澤大学となりました。「駒澤大学は、仏教を礎として開学以来釈尊の教えに基づいた智慧と慈悲の探求と実践に努めてきました。仏教の智慧とは、真実を見通す眼をもつて本当に大切なことを見分ける力、慈悲とは多角的に人間を捉え、他者を尊重できる慈しみの心です。駒澤大学の教育の礎は、『自分を磨き、他者とともに分かち合う』と言い換えることもできるでしょう。」

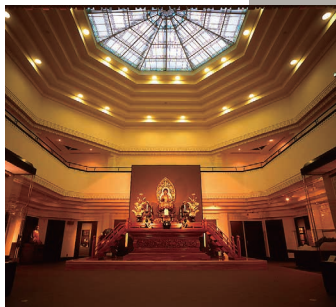
さらに今年度より、『誰からも愛される大学』を目標に定め、智慧と慈悲に縁起を加えて、教育の礎を強固な三本の柱にして歩んでいきたいと考えています。縁起とは、私たちが孤立した存在ではなく、すべてが

関わり合って生きているという仏教の教えです。皆さんも、多くの人の縁によって今日を生きています。駒澤大学はその縁を大切にし、ともに学び、支え合う場でありたいと考えています」と、今春学長に就任した村松哲文学長は語ります。

これを具現化するため、駒澤大学では「教育の理念」を掲げています。そこでは「建学の理念を実現するため、『丁寧な教育』『厚みのある教育』を行い、それにより十分な基礎力・実践力を身につけ、多様な経験を踏まえ主体的に行動できる力を備え、しなやかで折れない心を持ち、持続可能な社会の発展に寄与する人材の育成を行うことを教育の理念とする」と謳っています。また、この教育の理念を実現するため3つのポリシーを打ち出しています。求める人材について記したアドミッション・ポリシー[※]、学びについて記したカリキュラム・ポリシー、養われる能力について触れたディプロマ・ポリシーです。

先進のリベラル・アーツで「文理融合人材」を育成

学校法人駒澤大学では、「建学の精神」を簡潔に表現するものとして「行学一如」と「信誠敬愛」の言葉が用いられています。学部での専門的な学びのほかに、多彩な「全学共通科目」を幅広く学修できるのが特徴で、1年次には大学での勉強の仕方をレクチャーする「新人生セミナー」、3年次には所属学科以外の



禅文化歴史博物館